



新築時に、1 & 2階に同じ大きさをウッドデッキを作りました。

使用されている木材はSPF材(ツーバイ材)でデッキの完成後に表面だけ塗装してありました。

一見すると問題ないように見えますが、シロアリ被害が進んでいました。

幸いにも、住宅の木材部分とデッキの2階部分にはシロアリの侵入はみられず、1階のデッキの改修だけで済みました。

床板、土台、大引き、根太掛け、柱の一部にシロアリ被害が進んでいました。



既存のデッキ材を全て撤去後、土間に防草シートを敷き詰め

砂利を敷きました。外部から侵入してくる笹竹や雑草の

侵入が防げます。

改修に使用する材料は、事前に下部に全て防腐剤を塗布しています。



土台、大引きの上部+側面も防腐剤塗布。土台と基礎の間にはパッキンを入れ、アングルで固定し、大引きはコンクリートの固定束をアングルで固定しています。



改修で使用する木材は、セランガンバツ材です。

セランガンバツはボルネオ島、

東部インドネシア領カリマンタン原産の硬木で

芯材の色調は、黄色、黄褐色を示し、

辺材は淡色で両者の境界はかなりはっきりとしています。

木理は交錯し、肌目は精で比較的自然的欠点は少なく、

ブリットルハート(縦の繊維が無くなる状態)が少ないことも特長のひとつです。

●グリーン購入法に対応した合法木材です。

●堅く緻密な材質により微生物や害虫を防ぐとともに、すぐれた耐腐朽性を発揮します。

●天然木では最高水準の強度を備えています。

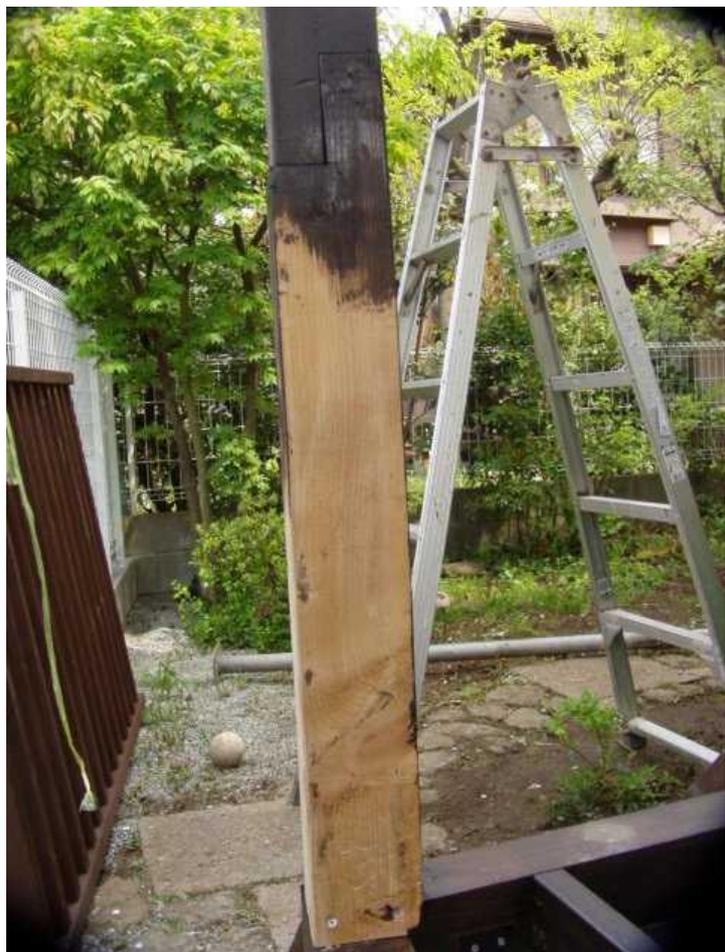
●防腐処理の必要がなく有害物質などによる環境への影響を与えません。

●塗装は可能ですが、メンテナンスは不要の材料です。

●経年変化および紫外線等の影響により銀白色に変化しますが、耐久性には支障はありません。

●天然木のため色違いおよびヤニ目、ひび割れ、辺材、ピンホール材が混入することがあります。

シロアリ被害の柱は根継ぎをし、ビスと金物を使いしっかりと固定しました。



扉やフェンスはシロアリ被害がなかったもので、防腐+防虫剤を重ね塗りし再利用しました。

